

公益社団法人日本グラススキー協会

平成 21 年度 事業報告書

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

平成 22 年 5 月 21 日

公益社団法人日本グラススキー協会
〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309
TEL047-309-7001FAX047-309-7002
www.grass-ski.or.jp info@grass-ski.or.jp

I 概況

- 1 設立年月日 昭和 60 年 4 月 1 日 法人認可年月日 平成 5 年 11 月 9 日
(公益社団法人日本グラススキー協会 移行認定登記 平成 22 年 4 月 1 日)

2 定款に定める目的

「この協会はグラススキーの普及、技術の向上を通じて国民の体力の向上、余暇生活の充実をめざし、青少年から熟年に至る幅広い層の人たちの健全な精神と健康を享有するに資することを目的とする」

3 定款に定める事業内容

- (1) グラススキーの普及及び振興
- (2) グラススキーの競技規定の制定
- (3) グラススキーの全日本選手権大会、世界選手権大会、その他の競技会、研修会、講演会の開催及び後援
- (4) グラススキーの指導者・審判員の養成及び認定
- (5) グラススキーの競技施設・用具の認定
- (6) グラススキーの技術の認定
- (7) 国際スキー連盟グラススキーコミッティーへの役員の派遣並びに国際競技会への役員及び選手の派遣
- (8) 競技記録の認定及び管理並びに表彰
- (9) グラススキーに関する調査・研究・ビデオの作成及び出版物の刊行
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

文部科学省 スポーツ青少年局 生涯スポーツ課

5 会員の状況

種類	正会員	ジュニア会員	一般会員	総数
当期末	40	56	90	186
前期末比増減	0	+3	-15	-12

*一般会員減要因＝大会参加資格変更（会員以外の参加可）

6 主たる事務所

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 番地エステート E-309

TEL047-309-7001 FAX047-309-7002

URL : www.grassski-or.jp Mail : info@grassski-or.jp

7 役員等に関する事項

役職	氏名	現職（元職）	勤務状況
総裁	高円宮憲仁親王妃久子殿下		非常勤
顧問	竹鶴 威	ニッカウキスキー(株)相談役	非常勤
会長	小林 英夫	(株)アルビオン代表取締役会長	非常勤
副会長	盛田 英夫	盛田アセットマネジメント(株)取締役会長	非常勤
副会長	池上 三紀	財) 全日本スキー連盟 専務理事	非常勤
副会長	重光 昭夫	(株)ロッテ 副会長	非常勤
専務理事	三島木 和晴	林化学工業(株)代表取締役社長	非常勤
常務理事	藤田 洋一	事業及事務局統括	常勤
常務理事	豊野 智広	リッチフィールド (株)	非常勤
常務理事	根岸 一之	有) 松井造花店専務	非常勤
常務理事	飛鳥井 匠哉	有) ダイチ	非常勤
理事	吉永 博人	自営業	非常勤
理事	江口 文之	美馬市職員	非常勤
理事	有泉 勝利	(有)マート有泉	非常勤
理事	高橋 浩之	(有)ハートリゾート	非常勤
理事	飯塚 俊直	(有)あすか薬局 代表	非常勤
理事	芦田 直哉	斑尾スポーツアカデミー	非常勤
監事	井田 敏夫	(株)井田企画代表取締役社長	非常勤
監事	塚田 耕一	盛田アセットマネジメント (株) 社長	非常勤

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

①普及及び振興（第1号事業）

<体験会・講習会>

- ・ステップアップ2009（講習会・体験会・トレーニング会6月～9月）
会場：法華嶽公園・サンパーク都留・斑尾高原・七ヶ宿・アップ神辺
課題：告知、運営方法（参加者減）
- ・森林公園グラススキー体験会開催（5月～10月 6日間開催）
会場：埼玉県滑川市 武蔵丘陵森林公園 特設会場
雨天中止もあったが開催時は定員参加（1日60名）

<広報普及活動>

- ・公式メーカーの協力による普及を目的としたグラススキー用具の紹介
 - ・ホームページを利用した情報発信、一般紙、新聞他情報誌への情報提供
 - ・イベント告知ポスターの製作及び配布・競技会、体験会講習会取材対応他
- * TeamDLWH 主管によるスキー専門雑誌掲載への情報提供（協力）

②競技規定の制定（第2号事業）

FIS（国際スキー連盟）との連携による FIS 競技規則の確認

・JGSA 競技規則の制定、公開、管理の実施

③全日本選手権大会、世界選手権大会、その他の競技会研修会、講演会の開催及び後援（第3号事業）

<第16回高円宮杯グラススキージャパンオープン・第25回全日本グラススキー選手権>

会場 宮城県 七ヶ宿町 七ヶ宿グラススキー場

日程 9月19日（土）～9月22日（火）

総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、開催地七ヶ宿町他関係各位の協力により開催
全国からの参加者は勿論、チェコ4名、台湾4名が参加しての国際大会として開催
大会、競技両運営とも関係各部署のご協力により成功裡に終了

現地実行委員会には式典運営、競技運営、選手サポートと全面的に協力いただいた

<JGSA（B級）公認大会の開催 登録クラブ主管にて4戦開催>

（天元台 JGSA 公認3戦・都留 JGSA 公認1戦）

TD の派遣及び大会運営費一部負担の実施

<第5回都留市ジュニアグラススキー大会>スポーツ拠点づくり推進事業

会場：サンパーク都留グラススキー場 日程：8月21日（金）～23日（日）

総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地（7ブロック）から70名を超えるジュニア
選手が参加 都留市、サンパーク都留 GSC 他のご協力により成功裡に終了

男子、萩生田選手 女子、尾島選手を2010年 FIS チルドレン代表として選考

課題：全国8ブロック参加、高校生選手の参加

<第24回全日本テクニカル選手権>

会場 長野県 飯山市 斑尾高原スキー場 日程 10月17日～18日

中野聡（DLWH）八島徹也（七ヶ宿）芦田直哉（斑尾高原）木川将軍（サンパーク都留）

新谷起世（DLWH）をデモンストレーターとして認定

渡部秀文（七ヶ宿）矢野誠（サンパーク都留）を普及委員として総会推薦

<計測機材使用>都留ジュニア大会、全日本選手権、高円宮杯、テクニカル選手権

④指導者、審判員の養成及び認定（第4号事業）

<研修会>法華嶽公園・サンパーク都留・斑尾高原・AKAGI 芝 SPORTS・七ヶ宿
アップ神辺にて6会場にて実施

<インストラクター検定会> 会場 長野県飯山市 斑尾高原にて実施

インストラクター（アシスタント）検定会実施 受験者7名 合格6名

<競技運営研修>七ヶ宿スキー場にて実施

競技運営（ルール）の確認及び実地研修を行った

⑤競技施設・用具の認定（第5号事業）

・全国6施設の JGSA 公認認定及び国際スキー連盟公認コース申請・継続

公認スキー場・非公認スキー場への行事案内（大会・講習会ポスター送付）

公認（協力・登録）スキー場の JGSA HP・主催行事での紹介

・3メーカーの公式用品認定（一般ユーザーに対しての MATERIAL 紹介）

⑥技術の認定（第6号事業）

・インストラクター検定・オフィシャルテスト・ジュニアテストの実施

登録クラブの協力を得てパパーク都留、ふじてん、Up かななべ、斑尾高原にて開催

⑦国際スキー連盟グラススキーコミッティへの役員の派遣並びに国際競技会への役員及び選手の派遣（第7号事業）

<ジュニア世界選手権・チェコ>7月27日～8月2日（監督 藤田洋一）

代表選手：齋藤久美（天元台 Jr）SG-9位 SC-4位 GSL-3位 SL-2位（日本選手最高位）

仁神麻里（DLWH） SG-4位 SC-7位 GSL-7位 SL-DQ

新谷大地（中尾山） SG-7位 SC-6位 GSL-5位（男子最高位） SL-9位

田中喜之（DLWH） SG-22位 SC-21位 GSL-DQ SL-20位

齋藤久美仁神麻里 新谷大地入賞

<チルドレンキャンプ・ドイツ> 8月3日～9日（監督 渡部秀文）

代表選手：斎木達彦（DLWH） SL-優勝 GSL-2位

中澤歩里（天元台 Jr） SL-優勝 GSL-3位

<世界選手権・オーストリア>7月末～8/6日（監督 根岸一之）

代表選手：新谷起世（DLWH） GSL-10位 SG-3位 SL-DF SC-DF

岡田利修（DLWH） GSL-23位 SG-25位 SL-DF SC-DF

飛鳥井匠哉（DLWH） GSL-22位 SG-DS SL-15位 SC-18位

新谷大地（中尾山） GSL-25位 SG-32位 SL-DF SC-22位

八島徹也（七ヶ宿） GSL-12位 SG-24位 SL-DF SC-11位

木川将軍（パパーク都留） GSL-DF SG-46位 SL-DF SC-DF

（ワールドカップ）新谷起世2戦連続優勝他、八島徹也8位、飛鳥井匠哉9位入賞

<国際会議への派遣>

4月オーストリア（インスブルック）・10月スイス（チューリッヒ）

FIS 会議・TD 研修会への出席 2013年世界選手権日本開催決定

⑧競技記録の認定及び管理並びに表彰（第8号事業）

公認大会選手（登録選手）ポイント管理及び一般会員、有資格者管理

ジュニアテスト・オフィシャルテスト他検定会技術認定者の管理

⑨グラススキーに関する調査・研究・ビデオの作成及び出版物の刊行（第9号事業）

専門委員にて活動内容検討会実施（研修普及事業として研修 DVD 配布）

⑩その他この法人の目的を達するために必要な事業（第10号事業）

<組織整備強化>

管官庁、諸団体との関係維持につとめ、文部科学省・独立行政法人、財団法人への、

協力依頼、調査依頼への対応、会議研修会・説明会への出席、申請等の実施

公益法人サポートセンターよりの指導、新公益法人法研修会等への参加

2. 役員会等に関する事項

<第19回理事会 社員総会> 平成21年5月15日開催

平成19年度事業報告・収支決算・定款変更（案）他

＜臨時社員総会＞ 平成 21 年 9 月 21 日開催

定款変更（案）・認定後の諸規定について

＜臨時社員総会＞ 平成 22 年 1 月 29 日開催

平成 21 年度事業計画・収支予算の修正他

＜第 20 回理事会 社員総会＞ 平成 22 年 3 月 2 日開催

平成 22 年度事業計画・収支予算他

3. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状況の推移

事業年度	平成 18 年度 3 月期	平成 19 年度 3 月期	平成 20 年度 3 月期	平成 21 年度 3 月期
前期繰越 収支差額	1,716,936	2,418,604	300,744	-97,000
当期収入 合 計	11,971,058	11,396,881	11,933,415	12,358,776
当期支出 合 計	11,269,390	13,514,741	12,331,159	13,268,438
当期収支 差 額	701,668	△ 2,117,860	△ 397,744	△ 909,662
(備考)		新規事業開始 3 世界大会派遣	チルドレン・ジュニア 世界大会派遣	チルドレン・ジュニア シニア・3 世界大会派遣
次期繰越 収支差額	2,418,604	300,744	-97,000	-1,006,662
資産合計	22,714,088	20,610,137	21,387,671	20,428,274
(備考)	固定資産除			
負債合計	13035484	13,035,484	14,224,671	14,174,936
正味財産	9,678,604	7,574,653	7,163,000	6,253,338

*H20 年度前受人 2 重計上により繰越差額訂正

4. 解散及び設立に関する事項

＜公益認定＞

平成 22 年 3 月 24 日内閣府移行認定

平成 22 年 3 月 31 日「社団法人日本グラススキー協会」解散

平成 22 年 4 月 1 日「公益社団法人日本グラススキー協会」移行登記

Ⅲ 法人の課題

- ① グラススキーの更なる普及と振興
- ② 2013 年世界選手権日本開催に向けた選手強化

本事業報告書は原本と相違ありません

公益社団法人日本グラススキー協会

代表理事 小林 英夫